御成小校地の埋蔵文化財:茅ヶ崎北陵高校々地との対比を通して

講師: 永野 征男 (日本大名誉教授)

日時 2024 年 1 月 28 日 (日) 14:00-16:00

会場 鎌倉市中央図書館 3階 多目的室

申込 30 名 (先着順 無料) 電子メールまたは FAX で

■電子メール toshokantomodachi@gmail.com (図書館とともだち・鎌倉事務局) 件名を「講演会申込」、本文に氏名、フリガナ、電話番号をご記入下さい

■FAX 0467-45-5731

鎌倉市では、現在、本庁舎移転整備が進められ、現庁舎跡地利用に向けた基本計画の 策定作業が進められています。

一方、市が進める深沢地域整備事業区域内で、昨年7月より土地区画整理事業に伴う **陣出遺跡**の発掘調査(420 m)が行われ、10月にはその説明会も開催されました。

調査によると、古墳時代から平安時代の4件の竪穴住居跡が発見され、同時代の土器 や陶器の破片等が多数出土しています。また現庁舎の隣地の御成小校地は、建替え時 の調査(1984~1992年)で明らかになったように、鎌倉市の重層的な歴史を辿るこ とができる**今小路西遺跡/古代「鎌倉郡衙」**の一角にあたります。

今後、それぞれの庁舎を建てるとき、これらの遺跡とどのように向かい合い、活かしていくのか? 歴史文化都市・鎌倉に遺る私たち市民の豊かな宝物を未来に引き継いでいくために、どのような叡智や配慮が求められるのか?

近隣都市の事例を学びながら、ご一緒に考えてみませんか?





主催:図書館とともだち・鎌倉